

7 三重県測量・調査業務委託に係る資格者認定基準

三重県測量・調査・設計業務委託に係る資格者認定基準

平成7年2月16日制定・平成9年4月1日改正・平成15年7月1日改正

業 務 種 別		作 業 種 別	作 業 に お け る 対 象 者			資 格 者 認 定 基 準
			契 約 条 項 (届 出 者)	共 通 仕 様 書 (資 格 者)	検 査 要 領 (立 合 者)	
測 量 業 者	測 量 業 務	測 量 作 業 共 通 仕 様 書 の 業 務	管 理 技 術 者 (主 任 技 術 者)	主 任 技 術 者	主 任 技 術	測 量 士 資 格 取 得 者
建 設 コ ン サ ル タ ン ト	土 木 設 計 業 務	設 計 業 務 委 託 共 通 仕 様 書 の 業 務	管 理 技 術 者	管 理 技 術 者	管 理 技 術 者	<p>登録部門ごとに別表1の右欄に掲げる要件に該当する技術士（技術士の配置予定登録部門は3部門に限る。）</p> <p>建築士法により免許を受け、かつ、建設コンサルタント登録規程の都市計画及び地方計画部門の5年以上の実務経験により登録された1級建築士</p> <p>建設コンサルタント登録規程の各登録部門に10年以上の実務経験により登録された技術士等の技術管理者（の技術士を除く。また、技術管理者の配置予定登録部門は、登録部門及び別表2に掲げる登録部門と密接に関連のある1部門までとする。）</p> <p>その他の資格者</p> <p>(1)建設環境部門にあつては、衛生工学部門で登録した技術士で、かつ、計量法により環境計量士（濃度関係）の登録をした者又は応用理学部門（選択科目：物理及び化学）で登録した技術士で、かつ、計量法により環境計量士（騒音・振動関係）で登録をした者</p> <p>(2)下水道部門にあつては、日本下水道事業団法施行令により認定された第1種下水道技術検定合格者で、かつ、5年以上の実務経験者</p> <p>RCCM 資格試験（社）建設コンサルタンツ協会の定款第46条に基づくシビルコンサルティングマネージャー資格制度施行規程（以下「RCCM 規程」という。第4条に規程するものをいう。）に合格した者（ただし、配置予定登録部門は3部門までに限る。）</p>

業 務 種 別	作 業 種 別	作 業 に お け る 対 象 者			資 格 者 認 定 基 準	
		契 約 条 項 (届 出 者)	共 通 仕 様 書 (資 格 者)	検 査 要 領 (立 合 者)		
補償 コ ン サ ル タ ン ト	用 地 調 査 等	土地調査部門 土地の権利者の氏名、住所及び土地の所在、地目、面積等並びに権利の種類、内容の調査等〔測量法第3条に規程する測量は含まない。〕	管理技術者 (主任技術者)	主任技術者	主任技術者	<p>補償コンサルタント登録規程により各登録部門で補償業務管理者として登録された者 (社)日本補償コンサルタント協会が認定する補償業務管理士で、かつ、(財)公共用地補償機構が行う補償コンサルタント業補償業務管理者認定研修の修了者 物件部門のうち建築物に関するものについては、建築士法により登録を受けた建築士事務所の建築士 その他の資格者及び実務経験者</p> <p>(1) 各補償業務に関して7年以上の実務経験者 (2) 補償業務全般の指導監督の実務の経験3年以上を含む20年以上の実務経験者 (3) 各補償部門において、三重県が発注した補償業務に関して1年以上の実務経験を有する次の各号に該当する資格者</p> <p>ア 土地調査部門(用地測量と併せて発注する場合) 測量業務の資格者認定基準に該当する測量士 イ 土地評価部門 不動産鑑定士 ウ 物件部門 (ア) 木造建物調査及び木造特殊建物調査 1級、2級及び木造建築士 (イ) 非木造建築物調査又は移転工法及び予備調査 1級建築士 (ウ) 簡易な工作物及び立竹木調査(用地測量と併せて発注する場合。ただし、積算業務を除く。) 測量業務の資格者認定基準に該当する測量士 エ 機械工作物部門 当該機械・生産設備に係る技術士 オ 営業補償部門(営業補償に限る。) 公認会計士、税理士、中小企業診断士 カ 事業損失部門 各部門の事業損失の実務経験者</p>
		土地評価部門 土地評価のための同一状況地域の区分等 残地等の損失補償の調査等〔不動産の鑑定評価は含まない。〕	管理技術者 (主任技術者)	主任技術者	主任技術者	
		物件問題 木造建物。一般工作物、立木等の損失の調査等 木造建物若しくは非木造建物の特殊建物等の調査等	管理技術者 (主任技術者)	主任技術者	主任技術者	
		機械工作物部門 機械工作物の調査等	管理技術者 (主任技術者)	主任技術者	主任技術者	
		営業補償・特殊補償部門 営業補償の調査等 漁業権等の消滅等の調査等	管理技術者 (主任技術者)	主任技術者	主任技術者	
		事業損失部門 事業損失に関する調査等	管理技術者 (主任技術者)	主任技術者	主任技術者	
		補償関連部門 意向調査、生活再建調査等 補償説明等の調整等 事業認定申請図書の作成	管理技術者 (主任技術者)	主任技術者	主任技術者	

業 務 種 別	作 業 種 別	作 業 に お け る 対 象 者			資 格 者 認 定 基 準
		契 約 条 項 (届 出 者)	共 通 仕 様 書 (資 格 者)	検 査 要 領 (立 合 者)	
地 質 調 査 業 者	〔 コンサルタント業務 〕 地質概査 地表地質調査 物理探査 弾性波探査 総合解析	管理技術者 (主任技術者)	主任技術者	主任技術者	地質調査業者登録規程の指定する技術部門(選択科目)で登録した技術士 地質調査業者登録規程により登録された技術管理者(技術士を除く。)
	〔 現場における調査業務 〕 地質調査共通仕様書の業務 (地質・土質調査・試験に関する業務)	管理技術者 (主任技術者)	主任技術者	主任技術者	地質調査業者登録規程により現場管理者に登録された者 (社)全国地質調査業協会連合会の認定する地質調査技術実務経験者 (1) 大学・高専で土木工学(農業土木又は森林土木に関する学科を含む。)、建築学、鉱山学、地学、物理学又は機械工学を修得し、かつ、8年以上の実務経験者 (2) 高校で土木工学(農業土木又は森林土木に関する学科を学科を含む。)、建築学、地質工学又は機械工学を修得し、かつ、 10年以上の実務経験者 (3) その他の者にあたっては、12年以上の実務経験者
建 築 士 事 務 所 等	建築設計業務	管理技術者 (主任技術者)	主任技術者		1級建築士、2級建築士及び木造建築士 設備関係における資格者及び実務経験者 (1) 建築部門、電気・電子部門、機械部門(選択科目:流体機械又は暖冷房及び冷凍機械)、水道部門及び衛生工学部門で登録した技術士 (2) 建築設備資格者として登録された建築設備士 (3) 建設業法による1級電気工事施工管理技士、1級管工事施工管理技士又は(社)空気調和・衛生工学会の定める空気調和・衛生工学会設備士で、かつ、資格取得後6年以上の実務経験のある者 (4) 電気事業法による第1種又は第2種電気主任技術者でかつ、資格取得後12年以上の実務経験のある者

別表1

登録部門	技術上の管理をつかさどる者の要件
河川、砂防及び海岸部門	技術士法による第2次試験のうち技術部門を建設部門(選択科目を河川、砂防及び海岸とするものに限る。)とするものに合格し、同法による登録を受けている者であること。
港湾及び空港部門	技術士法による第2次試験のうち技術部門を建設部門(選択科目を港湾及び空港とするものに限る。)とするものに合格し、同法による登録を受けている者であること。
電力士木部門	技術士法による第2次試験のうち技術部門を建設部門(選択科目を電力士木とするものに限る。)とするものに合格し、同法による登録を受けている者であること。
道路部門	技術士法による第2次試験のうち技術部門を建設部門(選択科目を道路とするものに限る。)とするものに合格し、同法による登録を受けている者であること。
鉄道部門	技術士法による第2次試験のうち技術部門を建設部門(選択科目を鉄道とするものに限る。)とするものに合格し、同法による登録を受けている者であること。
上水道及び工業用水道部門	技術士法による第2次試験のうち技術部門を水道部門(選択科目を上水道及び工業用水道とするものに限る。)とするものに合格し、同法による登録を受けている者であること。
下水道部門	技術士法による第2次試験のうち技術部門を水道部門(選択科目を下水道とするものに限る。)とするものに合格し、同法による登録を受けている者であること。
農業土木部門	技術士法による第2次試験のうち技術部門を農業部門(選択科目を農業土木とするものに限る。)とするものに合格し、同法による登録を受けている者であること。
森林土木部門	技術士法による第2次試験のうち技術部門を林業部門(選択科目を林業土木とするものに限る。)とするものに合格し、同法による登録を受けている者であること。
造園部門	技術士法による第2次試験のうち技術部門を建設部門(選択科目を都市計画及び地方計画とするものに限る。)とするものに合格し、同法による登録を受けている者で、造園部門に係る業務に関し実務の経験を有するものであること。

登録部門	技術上の管理をつかさどる者の要件
都市計画及び地方計画部門	1 技術士法による第2次試験のうち技術部門を建設部門(選択科目を都市計画及び地方計画とするものに限る。)とするものに合格し、同法による登録を受けている者であること。 2 建築士法(昭和25年法律第202号)による一級建築士の免許を受けている者で、当該免許を受けた後都市計画及び地方計画部門に係る部門に関し5年以上実務の経験を有するものであること。
地質部門	技術士法による第2次試験のうち技術部門を応用理学部門(選択科目を地質とするものに限る。)とするものに合格し、同法による登録を受けている者であること。
土質及び基礎部門	技術士法による第2次試験のうち技術部門を建設部門(選択科目を土質及び基礎とするものに限る。)とするものに合格し、同法による登録を受けている者であること。
鋼構造及びコンクリート部門	技術士法による第2次試験のうち技術部門を建設部門(選択科目を鋼構造及びコンクリートとするものに限る。)とするものに合格し、同法による登録を受けている者であること。
トンネル部門	技術士法による第2次試験のうち技術部門を建設部門(選択科目をトンネルとするものに限る。)とするものに合格し、同法による登録を受けている者であること。
施工計画、施工設備及び積算部門	技術士法による第2次試験のうち技術部門を建設部門(選択科目を施工計画、施工設備及び積算とするものに限る。)とするものに合格し、同法による登録を受けている者であること。
建設環境部門	技術士法による第2次試験のうち技術部門を建設部門(選択科目を建設環境とするものに限る。)とするものに合格し、同法による登録を受けている者であること。
建設機械部門	技術士法による第2次試験のうち技術部門を建設部門(選択科目を流体機械、建設、鉱山、荷役及び重搬機械又は機械設備とするものに限る。)とするものに合格し、同法による登録を受けている者であること。

別表 2

登録部門と密接に関連のある部門（技術管理者）

登 録 部 門	関 連 部 門
道路部門	河川、砂防及び海岸部門、地質部門、トンネル部門、土質及び基礎部門、鋼構造及びコンクリート部門
河川、砂防及び海岸部門	道路部門、土質及び基礎部門、地質部門
下水道部門	地質部門
都市計画及び地方計画	造園部門
地質部門	道路部門、河川、砂防及び海岸部門、下水道部門
土質及び基礎部門	道路部門、河川、砂防及び海岸部門、鋼構造及びコンクリート部門
トンネル部門	道路部門、地質部門、土質及び基礎部門
鋼構造及びコンクリート部門	道路部門、土質及び基礎部門

- 1．三重県建設工事執行規則の施行に関し必要な書類の様式を定める要綱第 2 号様式設計業務等委託契約書の契約条項にいう管理技術者（共通仕様書及び測量・調査・設計業務検査要領にいう管理技術者又は主任技術者を含む。）は、この資格者認定基準に該当する者とする。
- 2．この資格者認定基準にいう実務経験年数については、同時に 2 以上の部門を担当した場合であっても、期間の重複は認めない。ただし、測量業務と用地測量等（４）ア及びウ（ウ）の重複のみ例外とする。
- 3．上記の技術者の登録については、別に指定する期間に毎年一回届けなければならない。
- 4．上記の登録に関し変更が生じた場合には、2 週間以内に届けなければならない。

附則 この認定基準は平成 9 年 4 月 1 日から施行する。

附則 この認定基準は平成 1 5 年 7 月 1 日から施行する。